

# 堺市ICT戦略 概要版

## 背景

### <社会情勢の変化>

- 新型コロナウイルス拡大防止への対応
- ICTの著しい進歩（AI、RPA等）
- サイバー攻撃の高度化・複雑化

### <国の動向>

- データ利活用やデジタル手続法への対応
- スマート自治体への転換

### <本市の状況>

- 市長直轄のICT推進部門を設置
- 市全体へのICTガバナンスの強化が必要
- ハードウェア・運用業務の統合推進
- 職員のICTリテラシーの向上が必要
- 多くの業務のシステム化

## 目標

ICTを積極的に活用し「**市民サービスの向上**」、「**行政運営の効率化**」を図る

新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」への対応など、社会情勢の変化及び国の動向を踏まえ、ICTを積極的に活用していくために、「デジタルファーストの推進」「新たな技術とデータの積極活用」を推し進めるとともに、業務システムの投資・効果・リスクの最適化に向けた「業務プロセス・システムの標準化」と、ICTを安定的に活用するための「ICT人材の育成」「情報セキュリティの強化」を確立できるよう、ICTガバナンスを強力に発揮し、これらの戦略に基づき取り組みを進めていく。

## 戦略

### デジタルファーストの推進

行政サービス全般のオンライン化・ペーパーレス化をさらに進め、来庁することなく申請ができる手続きを増やすなど、より積極的にデジタル化を推進します。

### 新たな技術とデータの積極活用

新たな技術を積極的に活用し、行政サービスの効率化や働き方改革などに取り組みます。オープンデータ化をさらに進めるなど、積極的にデータを活用します。

### 業務プロセス・システムの標準化

「スマート自治体」や「クラウド・バイ・デフォルト」などの考え方も取り入れながら、人口減少社会も見据えて、業務プロセス・システムの標準化を図ります。

### ICTリテラシーの向上

業務改善や課題解決にICTを有効に活用できる職員を育成します。

### 情報セキュリティの強化

ICTを安全に利用できるように、個人情報の適正管理を図るとともに、サイバー攻撃等に迅速に対応できる情報管理体制の整備など情報セキュリティを強化します。

## 主な取組

行政手続オンライン化の推進  
キャッシュレスの推進  
マイナンバーカードの活用 など

業務の自動化（RPA、AI、チャットボット）  
モバイルワークの活用  
施策立案等におけるデータの積極的な活用  
オープンデータの促進 など

システムの標準化 統合運用の拡大  
区役所業務改革  
ICT経費の適正化 など

ICTリテラシー研修  
ICT活用事例の普及 など

堺市情報セキュリティマネジメントシステム（堺市ISMS）の強化  
全庁情報セキュリティ強化（外郭団体等へのアプローチ） など